1 電気設備工事　特記仕様書

工事名称　天理市上水道第７次拡張事業　杣之内浄水場電気室増築工事（建築）

工事場所　天理市

工事期間　○平成　　年　　月　　日　まで
○　契約締結日より　　日間

建築概要　敷地面積　　000,000.000
用途指定
防火指定　　＊＊＊＊＊＊

工事項目

１．照明コンセント設備工事
照明分電盤の二次側以降、照明器具、配線器具に至る配管配線工事および配線器具の取付工事，照明分電盤、照明器具の製作、取付工事を行なう。

２．動力配線工事
動力盤の２次側以降、各動力機器に至る配管配線工事、操作配線工事および動力盤の製作、取付、試験調整工事を行なう。

一般事項

［１］施行基準
本工事は設計図によるほか、建設大臣官房官庁営繕部監修『電気設備工事共通仕様書』，『標準図』，『電気設備工事施工管理指針』（最新版），及び電気設備技術基準，消防法，建築基準法，条例等の諸官公庁含規定に基づき並びに係員の指示により、適正確実に施工するものとする。

［２］諸手続き
本工事に要する関係官公庁社への申請手続き関係書類の作成は遅滞なく行うこと。又これに必要な費用はすべて請負者の負担とする。

［３］施行詳細
本工事は、特記仕様書並びに添付図面に示す範囲において、明記なき部分でも技術上、施行上、本工事完成上、当然必要と認められる工事は係員の指示に従い異議なく施行すること。又設計図は大要を示すものであり工事着工前に工事施行図を作成して、係員の承認を得たあと施行する。

［４］使用材料
本工事に使用する諸材料並びに製作品は、諸取締規則、ＪＩＳ規格のあるものは各々の規格に合格した品質優良な新品とし、見本品又は製作詳細図を提出し係員の承認を受けたあと正式に発注する。

［５］工事監理
請負者は、本工事に関する下記の監理を行うこと。
（ａ）労働基準法、労働安全衛生規則、その他関連法規に従い工事場の監理を行い工事場内の労働者、その他の出入りの監督、風紀衛生の確保およびその他の事故防止についても十分な注意と処置を行う。
（ｂ）工事場内においては、常に諸機械その他の整理および場内の清掃を行う。

［６］完成引き渡し
（ａ）工事完成のうえは、全設備の試験および検査を受け官公庁社の基準に合格するとともに許可書、検査証および試験結果表を添えて引渡しを行うこと。
（ｂ）各種機器には、その製造社名、製造年月日、機器製造番号等の標示を設け、別にその機器の使用方法、注意事項等の取り扱い説明書を提出する。

［７］工事保証
本工事請負者は、工事完成後でも工事の不完全、納入品の欠陥等に起因する故障等については、二年間保証の責に任じ、無償にて修理又は良品と取り替えるものとする。

［８］竣工に伴う提出物（●印を適用する。）
●１．工事請負者手続要領
○　全体工程表　　１部　　○　週間工程表　　随
○　下請業者報告書　　１部　　○　主要資材発注報告書　１部
○　資材搬入報告書　　１部　　○　納入伝票　　１部
○　工事日報　　１部　　○　工事打合せ簿　　１部
○　各種テストデータ　１部　　○　各種機器保証書　１部
○　物品引渡し書　　部
上記の書類は工事竣工時に　コクヨ　フー６＊０　（同等品以上）にファイルし提出すること。
○　完成図　　２部（コクヨフー６＊０にファイルする事。）
○　完成原図　　（変更個所を全て訂正）　　部
○　竣工図　　製本　２部
○　設計図　　製本　　部　　縮小製本　　部
●２．工事記録写真　○　現況写真　　部　工事写真アルバム（サービス版）
○　工程写真　　部　工事写真アルバム（サービス版）
○　工程写真　　部　工事写真アルバム（サービス版）
○　竣工写真　　部　工事写真アルバム（サービス版）
部　化粧アルバム（キャビネ版）
●３．各機器の製品保証書、完成図（承認図）、試験結果成績表
●４．機器取り扱い説明書、カタログ　　部
●５．使用材料の一覧表（製造業者名、代理店名　記入）　　部
●６．接地抵抗測定、照度測定、絶縁抵抗測定、高低圧盤測定結果表　　部
７．テレビ電界強度測定結果表　　部
●８．官公庁社に申請を要した事項の認可証　　部
●９．備品目録（消耗品は５％以上を納品すること。）　　部

特記事項

●［　１］スイッチ・コンセントは埋込連用型とし、スイッチは波動型（大角ネーム付き）、コンセントの２ケ口は、一体連用形を使用する。
●［　２］照明器具は、吊りボールト等を使用して取り付け、天井に負担のかからないように施行する。
●［　３］プレート類は全て新金属プレートを使用する。
［　４］空配管には、１．２　ビニール被覆鉄線を挿入する。
［　５］既設撤去品は、係員の指示に従い請負者が責任をもって処分する。
●［　６］本工事に使用する電線管のうち、特記のないものは薄鋼電線管を使用する。また屋外に露出配管する場合には、厚鋼電線管および防水プルボックス（錆止め塗装のうえ指定色仕上げ）を使用する。
●［　７］電線管工事に際し、ネジ切り箇所およびベンダ使用箇所には、防錆塗装を行い、管とボックス類との接続箇所には、必ずアースボンド等により電気的に接続を行う。
●［　８］盤類は全て鋼板製メラミン焼付けとし盤厚は１．６　，２．３　とする。
●［　９］露出配管は全てエッチングプライマー下地処理のうえ、ＳＯＰ２回塗以上とする。
［１０］防火区画貫通部は、建築基準法令１１２条に基づき施行する。
［１１］エキスパンジョン・ジョイント部又は電動機等への接続部にはプリカ・チューブ又はフレキシブル・チューブを用いる。
●［１２］耐震措置を考慮するものは、建築設備の耐震設計・施行指針により施行する。

工事区分

番号	項　　目	電気	建築	空調	衛生	別途	備　　考
１	動力操作盤の１次側空配管工事	○					
２	照明分電盤の１次側空配管工事	○					
３	動力操作盤の１次側電源工事						別途電気工事
４	照明分電盤の１次側電源工事						別途電気工事
５							
６	動力換気扇の製作、取付			○			
７	同上用電源、制御配管配線工事	○					
８							
９							
１０	発電機冷却ファンの制御機器，配線工事						別途電気工事
１１							
１２							
１３							
１４							
１５							
１６							
１７							
１８							
１９							
２０							

【注記】１．工事用電力、水道、ガス等は、本工事に含む。（ただし別途建築工事とする）
２．現場事務所、作業場、資材置場等の設置場所は、構内に無償提供する。
３．切替工事等を行う場合には、必ず係員に事前了承を得て、係員の立会いのうえ施行する。
４．工事中、不可抗力による既設品等の破損等については、係員と別途協議をする。
５．本工事施行に関して、必要個所は工事着工前に事前調査を行い、施行図を作成して、係員の承認を得た後着工するものとする。
６．受電後、引き渡しまでの試運転電力料金は、施工主負担とする。

2 指定製造業者一覧表

指定製造業者一覧表

	材料・機器	製造業者名			
１	絶縁電線	カワイ電線	華陽電線	フジクラ	タツタ電線
２	ケーブル	弥栄電線	日本電線工業	日立電線	矢崎総業
		昭和電線	古河電気工業	住友電気工業	西日本電線
		三菱電線工業	冨士電線		
３	耐熱耐火ケーブル	華陽電線	フジクラ	タツタ電線	日本電線工業
		日立電線	矢崎総業	昭和電線	古河電気工業
		住友電気工業	西日本電線	三菱電線工業	冨士電線
４	通信ケーブル	華陽電線	フジクラ	タツタ電線	日本大洋海底電線
		日本電線工業	日立電線	矢崎総業	昭和電線
		古河電気工業	住友電気工業	西日本電線	三菱電線工業
		宮崎電線工業	日本電算設備	富士電線	
５	鋼製電線管	摂陽工業	東芝鋼管	日本パイプ製造	松下電工
		丸一鋼管			
６	合成樹脂管	クボタ	積水化学工業	未来工業	三菱樹脂
		フジクラ			
７	ＰＦ管・ＣＤ管	積水化学工業	フジクラ	矢崎総業	未来工業
		東拓工業	東芝鋼管	古河電気工業	松下電工
		住友電気工業			
８	ＦＥＰ	クボタ	積水化学工業	フジクラ	日立電線
		矢崎総業	東洋ゴム工業	東拓工業	古河電気工業
		住友電気工業	ﾀｲｶﾞｰｽﾎﾟﾘﾏｰ	未来工業	
９	金属製電線管付属品	外山電気	摂陽工業	ニチア	寺田電機製作所
		東芝鋼管	日本パイプ製造	松下電工	丸一鋼管
		電成興業			
１０	樹脂製電線管付属品	クボタ	積水化学工業	フジクラ	未来工業
		古河電気工業	日動電工	摂陽工業	松下電工
１１	金属線び及び付属品	外山電気	ネグロス電工	摂陽工業	南電機
		ニチア	東芝鋼管	日本パイプ製造	松下電工
		マサル工業			
１２	合成樹脂線び及び付属品	日動電工	未来工業	松下電工	マサル工業
１３	配線器具	三菱電機	摂陽工業	神保電器	東芝ライテック
		寺田電機製作所	松下電工	日立製作所	
１４	制御盤及び分電盤	愛知電機	高村電機製作所	内外電機製作所	三菱電機
		日東工業	大日製作所	高岳製作所	テンパール工業
		東芝ライテック	下平電機製作所	名神電機	因幡電機製作所
		松下電工	豊田電機製造	渦潮電機	川崎電気
		森井電業	日満電気	関西電機工業	ダイヘン
		セイリツ工業	戸上電機製作所	日立製作所	金門電気
１５	キュービクル受変電設備	愛知電機	高村電機製作所	内外電機製作所	三菱電機
		戸上電機製作所	日東工業	ダイヘン	大日製作所
		高岳製作所	東芝ライテック	日立製作所	関西電機工業
		下平電機製作所	因幡電機製作所	豊田電機製造	松下電工
		渦潮電機	松下電器産業	川崎電気	森井電業
		日満電気	セイリツ工業		
１６	低圧用開閉器	三菱電機	戸上電機製作所	富士電機	日東工業
		東芝ライラック	テンパール	日立製作所	松下電工
		寺崎電気産業			
１７	高圧用開閉器	三菱電機	戸上電機製作所	富士電機	高岳製作所
		日立製作所	ダイヘン	エナジーサポート	
１８	変圧器	三菱電機	富士電機	高岳製作所	日立製作所
		ダイヘン	利昌工業	松下電器産業	
１９	高圧コンデンサ	三菱電機	ニチコン	指月電機製作所	利昌工業
		松下電器産業			
２０	照明器具	三菱電機	山田照明	東芝ライテック	三洋電機
		ヤマギワ照明システム	日立製作所	因幡電機製作所	日本電池
		松下電工	岩崎電気	金門電気	
２１	照明用ポール	三菱電機	東芝ライテック	ヤマギワ照明システム	因幡電機製作所
		日本電池	松下電工	岩崎電気	金門電機
２２	電気時計	松下電工	服部セイコー	ﾃｲ･ｱｲ･ｼｲ･ｼﾁｽﾞﾝ	
２３	放送機器	日本無線	三菱電機	ティーオーエー	東芝ライテック
		ユニペックス	日本ビクター	ソニー	松下電器産業
		日本電気	三洋電機		
２４	映像機器	日本無線	三菱電機	ティーオーエー	東芝ライテック
		ユニペックス	日本ビクター	ソニー	松下電器産業
		三洋電機			
２５	テレビ共聴装置	ホーチキ	ミハル通信	デイエックスアンテナ	宮崎電線工業
		八木アンテナ	松下電器産業	マスプロ電工	日本アンテナ
		住友電気工業	日立電線		
２６	火災報知設備 防犯設備	ヤマトプロテック	ホーチキ	ニッタン	山武ハネウエル
		松下電工	能美防災	日本信号	プレックス
		東洋時報機製作所	沖電気防災		
２７	避雷針	四興	日本避雷針工業	大岩避雷針製作所	大阪避雷針工業
		日立製作所			
２８	電話・インターホン	三菱電機	アイホン	ティーオーエー	東芝ライテック
		日立製作所	ＮＴＴ	沖電気工業	日本電気
		松下電器産業	富士通	ケアコム	松下電工
		三洋電機			
２９	防犯用機器設備（防排煙設備）	ヤマトプロテック	ホーチキ	ニッタン	山武ハネウエル
		松下電工	能美防災	日本信号	松下電器産業
		ティーオーエー	アイホン	三菱電機	
３０	ハンドホール用蓋	ダイドレ	関西鋳工	中部ｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ	カネソウ
		長谷川鋳工	福西鋳物	北勢工業	片岡製作所
３１	既製品ハンドホール	コーワ	京阪コンクリート工業	東条コンクリート	アートコンクリート
３２	特殊照明及び付属品（舞台照明）	三菱電機	アールディエス	東芝ライテック	朝日バグナル
		松下電工	丸茂電機	松村電機製作所	
３３	蓄電池及び防犯設備	ﾕｱｻｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ	三菱電機	ヤマトプロテック	富士電機
		高岳製作所	東芝ライテック	古河電機	日立製作所
		日本電産設備	日本電池	ダイヘン	松下工業
		富士通	松下電器産業	エナジーサポート	
３４	キュービクル式発電設備	ﾔﾝﾏｰﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	日立製作所	松下電工	松下電器産業
		三菱重工業			

3 図面記号　凡例

適用	記号	名称	備考
●		動力操作盤　動力分電盤	盤結線図参照　：別途盤を表す。
●		電灯分電盤　電灯動力分電盤	〃
○	S	開閉器函	〃
○		警報盤	〃
○	MH	電力量計盤	
○		機械警備盤	盤は、別途工事とする。
○			
○			
○			
○	LF-nE	液面電極	LF-nE　［ｎは電極を示す。］
○	FS-n	フロート・スイッチ	FS-n　［ｎは電極を示す。］
●	M	電動機	別途建築、機械設備工事
○		遠方操作　押釦	ON　ON　OFF　GL　RL　WL
○		押釦開閉器	２．２ＫＷ以下用
○			
○			
●		けい光灯　（天井付、壁付）	傍記記号は、照明器具図を参照すること。
●		〃　（非常照明器具）	〃
○		〃　（サークライン）	〃
○		白熱灯　（天井付、壁付）	〃
○		〃　（非常照明器具）	〃
○		水銀灯	〃
○		誘導灯	〃
○			
●	$_1$ $_2$ $_3$ $_4$	埋込連用スイッチ　（プレート付）	1P-5A　2P-15A　3W-15A　4W-15A
○		〃　パイロットランプ　（　〃　）	
○	R nL	リモコン・スイッチ　（　〃　）	nL［ｎは回路数を示す。］
○	nL	リモコン・セレクタスイッチ　（　〃　）	〃
●	AS	自動点滅器　［・熱動式　電子式］	３Ａ　［100Ｖ　・200Ｖ］
○		調光器	
○			
○			
○	$_1$ $_2$ $_3$ $_4$	埋込連用コンセント　（プレート付）	2P-15A　×1／×2／×3／×4
●	$_E$	〃	Ｅは接地極付
○	$_{ET}$	〃	ＥＴは接地端子付
○		抜止めコンセント　（プレート付）	2P-15A　P-A　P-A
○		埋込みコンセント　（　〃　）	P-A　P-A　P-A
○		フロアコンセント	2P-15A×2　P-A×2　P-A×2
○		動力コンセント	4P-15A
○			
○	SS　AD	電動シャッタ電源／自動ドア電源	建築工事
●		換気扇／天上扇	機器空調工事
○	FV	小便器自動洗浄器用電源	機器衛生工事
○	M	洗面化粧台用電源	機器建築工事
○	K	キッチン・ユニット電源	建築工事
○		ｺﾝﾄﾛｰﾗ　換気扇用／ﾌｧﾝｺｲﾙ用／空調機用	機器空調工事
○	T	温度スイッチ	
○			
○			
○			
○			
○			
○	情報	情報系統図　『凡例』参照	
○	自火報　防排煙	自火報系統図『凡例』参照	
○			
○			
●		配管配線路　天井いんぺい配管　［―(―は空配管］	
●		〃　床いんぺい配管　［　〃　］	
●		〃　露出配管　［　〃　］	
○		〃　地中管路　又は　二重天井内ケーブル工事	
○		〃　架空線路	
○		〃　（ケーブルピット　又は　鉄板ダクト工事）	
●		〃　（レースウェイ　又は　配線ダクト工事）	
○		〃　（ケーブルラック工事）	
○			
●		配管　立ち上がり／素通し／立ち下がり	
●	PB	プルボックス　又は　ジョイントボックス	
○	HH-No　MH-No	ハンドホール（ HH ）　又は　マンホール（ MH ）	
○			
○	E_1 E_2 E_3 E_{3E} E_{S3} E_T $E_{P,C}$	接地極（第１種／２種／３種／３種（ ELB ）／特別第３種／電話用／測定用）	
○			
●	RP　MP	防雨型／防湿型	
●		別途　又は　既設機器／撤去工事	
○			
○			

天理市上水道第７次拡張事業 杣之内浄水場電気室増築工事							（建築）
図面	電気設備工事 特記仕様書・メーカリスト・記号凡例			設計番号			
縮尺	－－－－－－－		製図年月日	平成 9年11月28日			図番
製図	設計	審査	課長	局長	管理者		
天理市水道ガス局　水道建設課							